

放射線治療連携推進ワーキンググループ

(平成 28 年度)

広島県における放射線治療連携体制の構築

広島県地域保健対策協議会 放射線治療連携推進ワーキンググループ

委員長 永田 靖

I. はじめに

がん治療において、手術、放射線治療、薬物療法が3本柱である。その中で放射線治療の認知度はまだまだ不十分である。放射線治療は現在までに県内21施設で実施されているが、放射線治療専門医や医学物理士、放射線治療専門技師、放射線治療専門看護師など専門スタッフの不足が指摘されている。手術、化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療により、がん医療を推進するためには、実施施設が限定される放射線治療の専門スタッフの確保・育成とともに、高額な治療機器の効率的な運用なども含めた総合的な対策が必要となっている。

これらの問題点を解決するために、平成27年10月に広島駅新幹線口に「広島がん高精度放射線治療センター（以下、センター）」が開設された。センターを効率的に活用し広島県の放射線治療を推進していくためには、広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、広島県、広島市、一般社団法人広島県医師会の7者はもとより、県内すべてのがん診療連携拠点病院などの放射線治療連携体制の構築が重要な課題である。

II. 平成28年度の成果

(1) 放射線治療連携推進ワーキンググループ会議の開催

平成28年12月15日（木）に放射線治療連携推進ワーキンググループ会議を開催し、県内の放射線腫瘍医、医学物理士、診療放射線技師、放射線治療専門看護師、広島県医師会役員、広島県、広島市の委員が会合を行った。その中で、1. 放射線治療に関する実態調査について、2. 県民公開セミナーの開催について3. 高精度放射線治療センターの現状について、協議・報告した。

まず、県内放射線治療の実態調査結果を検討した

(図1)。2009-2015年の経年推移を調査した結果、医学物理士数、診療放射線技師数やがん放射線療法看護認定看護師数には近年に著明な増加が見られた。総治療患者数はセンター開設効果が反映されたのか、前年度よりわずかではあるが増加傾向に転じた。内訳としては、腔内照射や組織内照射などの小線源治療は減少したが、体幹部定位照射や強度変調放射線治療などの高精度放射線治療総数は増加した。

次に平成29年2月12日（日）に広島県医師会ホールにおいて、県民公開セミナー「ここまで来た！がん放射線治療」を開催することについて検討した。

最後に高精度放射線治療センターの開院後の実績の中で、治療対象となっている疾患としては、乳がん、前立腺がん、肺がん、肝臓がん、脳腫瘍などであることが報告された（図2）。

また、センターの新しい取り組みとして、平成28年12月2日（金）から「がん相談外来」を開設し、県民に対する最適ながん治療の機会を確保していることや、広島県内の放射線治療に係る技術の均てん化と水準向上を図るため、技術支援ワーキンググループにおいて、放射線治療システムに関わる装置の出力線量測定などを実施していることについて報告があった。

さらに、外来通院専門施設として課題であった緊急時の対応について、隣接するJR広島病院や県立広島病院と連携し、受入体制が確保されたことについても報告があった。

(2) 県民公開セミナー「ここまで来た！がん放射線治療」の開催

平成29年2月12日（日）、広島県医師会ホールにおいて、県民公開セミナー「ここまで来た！がん放射線治療」を開催した（図3）。

第1部では、専門医が分野毎に登壇し、「乳がん」「前立腺がん」「食道がん」「頭頸部がん」「子宮がん」

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
脳・脊髄	114	103	117	113	122	102	126
頭頸部（甲状腺含む）	407	474	425	434	433	421	498
食道	267	274	271	272	252	264	250
肺・気管・縦隔 （うち肺）	843 (679)	839 (747)	886 (683)	831 (621)	859 (784)	833 (749)	855 (756)
乳腺	1,234	1,330	1,268	1,246	1,148	1,134	1,089
肝・胆・膵	309	259	309	316	291	297	289
胃・小腸・結腸・直腸	309	266	243	322	332	360	337
婦人科	228	215	250	227	183	219	212
泌尿器系 （うち前立腺）	491 (359)	605 (442)	686 (476)	665 (486)	560 (388)	631 (458)	610 (467)
造血器リンパ系	201	247	226	261	210	246	249
皮膚・骨・軟部	60	57	61	73	67	56	61
その他（悪性）	24	41	22	33	33	41	61
良性	66	55	44	56	54	43	32
合計	4,553	4,765	4,808	4,849	4,544	4,647	4,669

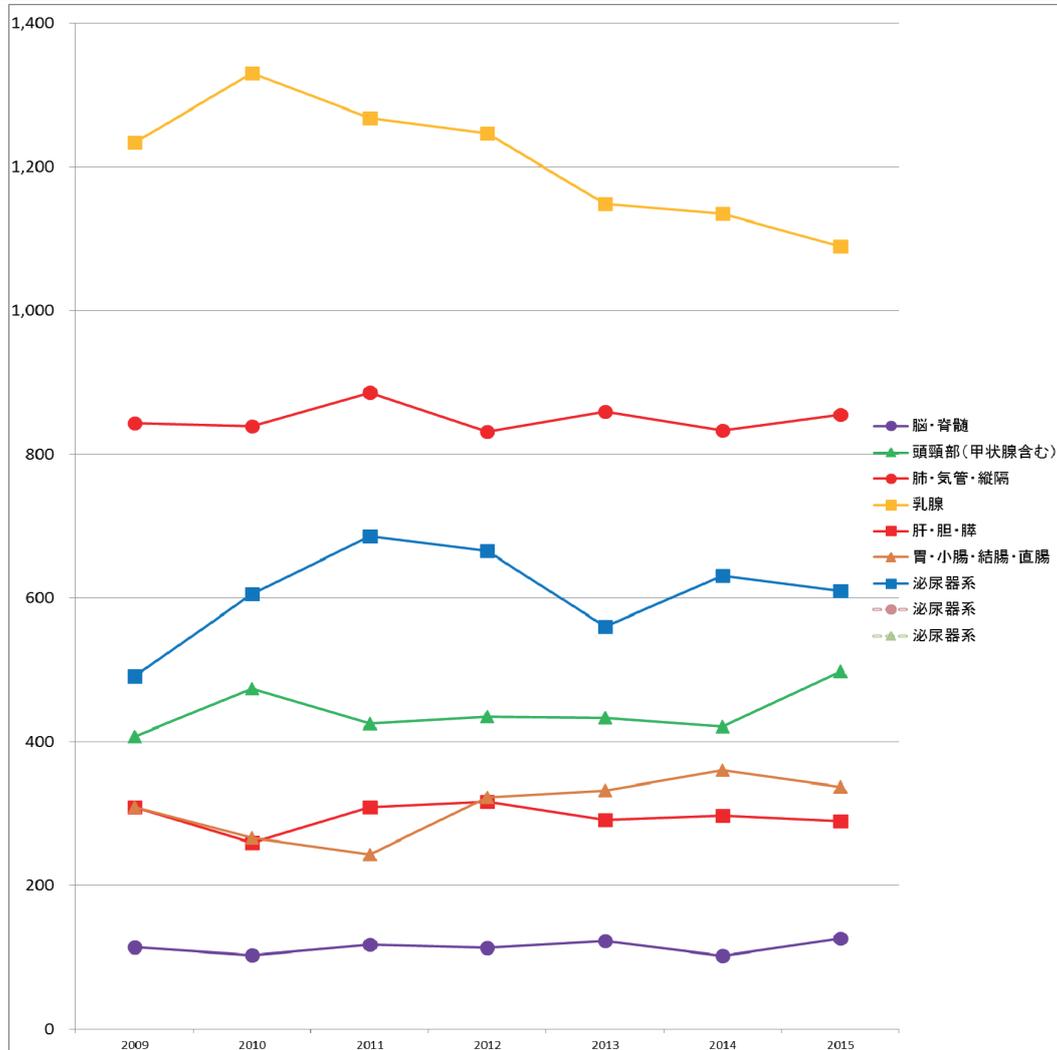


図1 2009—2015年における放射線治療部門の原発巣別新規患者数の推移

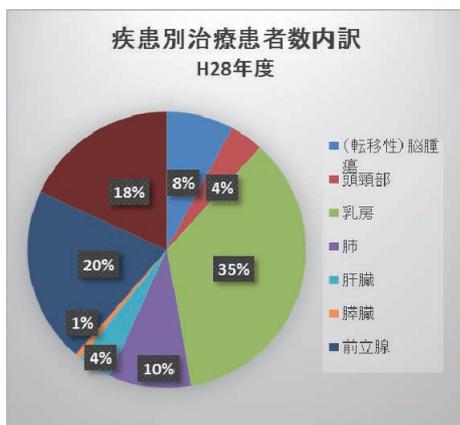
「肺がん」「緩和治療」について講義をおこなった。

第2部では、センターの施設見学会を開催し、多くの参加者に高精度放射線治療機器などを見学いただいた。

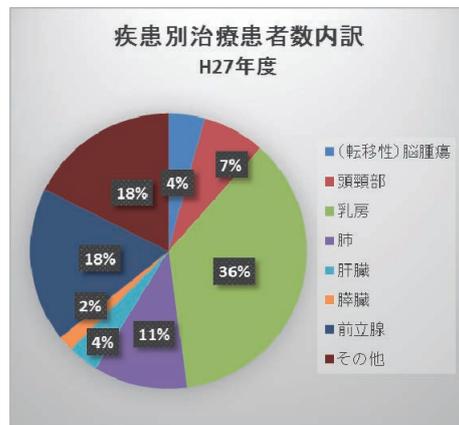
当日は、300人収容可能な会場が満員で、別室にテレビ中継されるほど大変盛況であり、放射線治療に対する県民の期待の高さが伺えた。



(※平成 27 年 10 月～平成 28 年 11 月末日時点)



(※平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月末日時点)



(※平成 28 年 4 月～平成 28 年 11 月末日時点)

図 2 センター実績

県民公開セミナー

ここまで来た! がん放射線治療

広島県では、行政・医師会・広島大学等が連携し「がん対策日本一」に向けた取り組みを行っており、平成 27 年 10 月に放射線治療施設の拠点として広島がん高精度放射線治療センター（HPRAC）を開設しました。本セミナーでは 7 人の専門医が登壇し、最新のがん放射線治療を解説します。この機会に是非ご参加ください。

参加無料
定員 300 名
※申し込み要です。

日時 平成 28 年 2 月 12 日(日) **会場** 広島県医師会ホール
広島市東区三葉の里 3-2-30 HPRAC 前

第 1 部 専門医が、各分野の最新のがん放射線治療をわかりやすく解説します。

座長	乳がん	前立腺がん	食道がん
永田 靖 広島がん高精度放射線治療センター	土井 敏子 広島がん高精度放射線治療センター	中川 富夫 広島がん高精度放射線治療センター	西淵 いくの 広島大学病院
頭頸部がん	子宮がん	肺がん	緩和治療
村上 祐司 広島大学病院	和田崎 晃一 広島大学病院	木村 智樹 広島大学病院	幸 慎太郎 広島大学病院

第 2 部 HIPRAC 施設見学

広島がん高精度放射線治療センター（HPRAC）の最新放射線治療装置を副センター長が説明します。

広島がん高精度放射線治療センター 副センター長 権丈 雅浩

主催 広島県地域保健対策協議会 協賛 広島県医師会内 地域医療課 広島県地域保健対策協議会

図 3 県民公開セミナーポスター

Ⅲ. 今後に向けて

今後の課題としては、センターのさらなる効率的な活用を視野に入れた、広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、広島県、広島市、一般社団法人広島県医師会の 7 者はもとより、県内のすべてのがん診療連携拠点病院での放射線治療連携体制の充実化を図る必要がある。

また、より質の高い放射線治療の実現に向けた人材育成方策の検討（放射線治療専門医、医学物理士、放射線治療専門技師、放射線治療専門看護師）を行う必要がある。

特に放射線治療専門医については、未だ県内各施設においても充足はしていない。センターを契機にした今後の放射線治療専門医リクルート活動に向けて、更なる取り組みを進める必要がある。

本委員会の提言が今後、関係者が具体的な取り組みを行う際の、有効な示唆となることを期待している。

広島県地域保健対策協議会 放射線治療連携推進ワーキンググループ

委員長 永田 靖 広島大学大学院医歯薬保健学研究院放射線腫瘍学
委員 伊東 淳 J A広島総合病院
岩波由美子 広島がん高精度放射線治療センター
大野 吉美 広島大学病院
小澤 修一 広島がん高精度放射線治療センター
檜本 和樹 市立三次中央病院
柏戸 宏造 広島赤十字・原爆病院
金谷 淳子 広島市健康福祉局保健部保健医療課
金光 義雅 広島県健康福祉局医療・がん対策部
桐生 浩司 広島市立安佐市民病院
権丈 雅浩 広島がん高精度放射線治療センター
小林 満 福山市民病院
齋藤 明登 広島大学病院
佐々木真哉 広島県健康福祉局がん対策課
高澤 信好 J A尾道総合病院
土井 歆子 広島がん高精度放射線治療センター
中島 健雄 広島大学病院
中西 敏夫 広島県医師会
藤田 和志 東広島医療センター
松浦 寛司 広島市立広島市民病院
村上 祐司 広島大学大学院医歯薬保健学研究院放射線腫瘍学
山田 聖 広島がん高精度放射線治療センター
幸 慎太郎 呉医療センター・中国がんセンター
吉崎 透 広島市立広島市民病院
和田崎晃一 県立広島病院